



平成29年度 下水道事業
北野第1排水区舗装本復旧工事

金抜設計書

工事番号 加下第 25 号

施工場所 加東市 北野 地内

工 種 舗装

兵庫県 加東市

総括情報表

単価適用年月日	0-29.08.01(0)		
工種区分(公共) 施工地域区分	今回 06 舗装 23 一般交通影響有り(2)	前回	

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
舗装							
舗装工							
構造物撤去工							
舗装版撤去							
	舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	18		m			施工 第0-0001号内訳表
	舗装版破碎積込(小規模土工)	687		m2			施工 第0-0002号内訳表
	殻運搬処理						
	殻運搬 舗装版破碎 ; D I D区間無し L=4.5km以下	34		m3			施工 第0-0003号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0016

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 アスファルト殻 ; 投棄量 3.4 m ³	1		式			施工 第0-0004号内訳表
アスファルト舗装工						
表層(車道・路肩部)						
不陸整正 補足材料→有り(29mm以上34mm未満) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40	687		m ²			施工 第0-0005号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 45mm以上55mm未満 ②密粒度アスコン[再](13); (2.35)	658		m ²			施工 第0-0006号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 45mm以上55mm未満 ②密粒度アスコン[再](13); (2.35)	28		m ²			施工 第0-0007号内訳表
区画線工						
区画線工						
熔融式区画線						

工事費内訳書

頁0-0004/0016

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	区画線設置 [熔融式] 実線・セアラ(15cm幅) 1.5mm						
仮設工		20		m			施工 第0-0008号内訳表
交通管理工							
交通誘導警備員							
	交通誘導警備員 B 昼間勤務－実働8時間(交替要員なし)						
		18		人日			施工 第0-0009号内訳表
直接工事費計							
共通仮設費計							
共通仮設費率分				式			
純工事費計							

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0006/0016
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(ブレード) 径22インチ			舗道版切断 カッターブレード			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

舗装版破碎積込(小規模土工)
[規格 1]

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0007/0016
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		小型バックホウ積0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

殻運搬
[規格 1] 舗装版破碎

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0008/0016
1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[ホンダ・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[ホンダ・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽 油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=5	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=1	無し					
D	運搬距離(km)	=10	4.5km以下					

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調砕石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0010/0016

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータグレーダ プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)]			モータグレーダ			
K2	ロッドローラ 質量10~12t [マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)]			ロッドローラ			
K3	タイヤローラ 質量8~20t [普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			タイヤローラ			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	再生クラッシャー RC-40			粒調砕石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無	=2	有り				
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満				
C	補足材料	=3	粒調砕石 M-25, M-30, M-40				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t=45mm以上55mm未満

[規格2] ②密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0011/0016
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅2.4～6.0m [ホイール型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			アスファルトフィニッシュ			
K2	タイヤローラー 質量8～20t [普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			タイヤローラー			
K3	ロータローラー 質量10～12t [マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)]			ロータローラー			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20)			②密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t=45mm以上55mm未満

[規格2] ②密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0013/0016
m2 当り

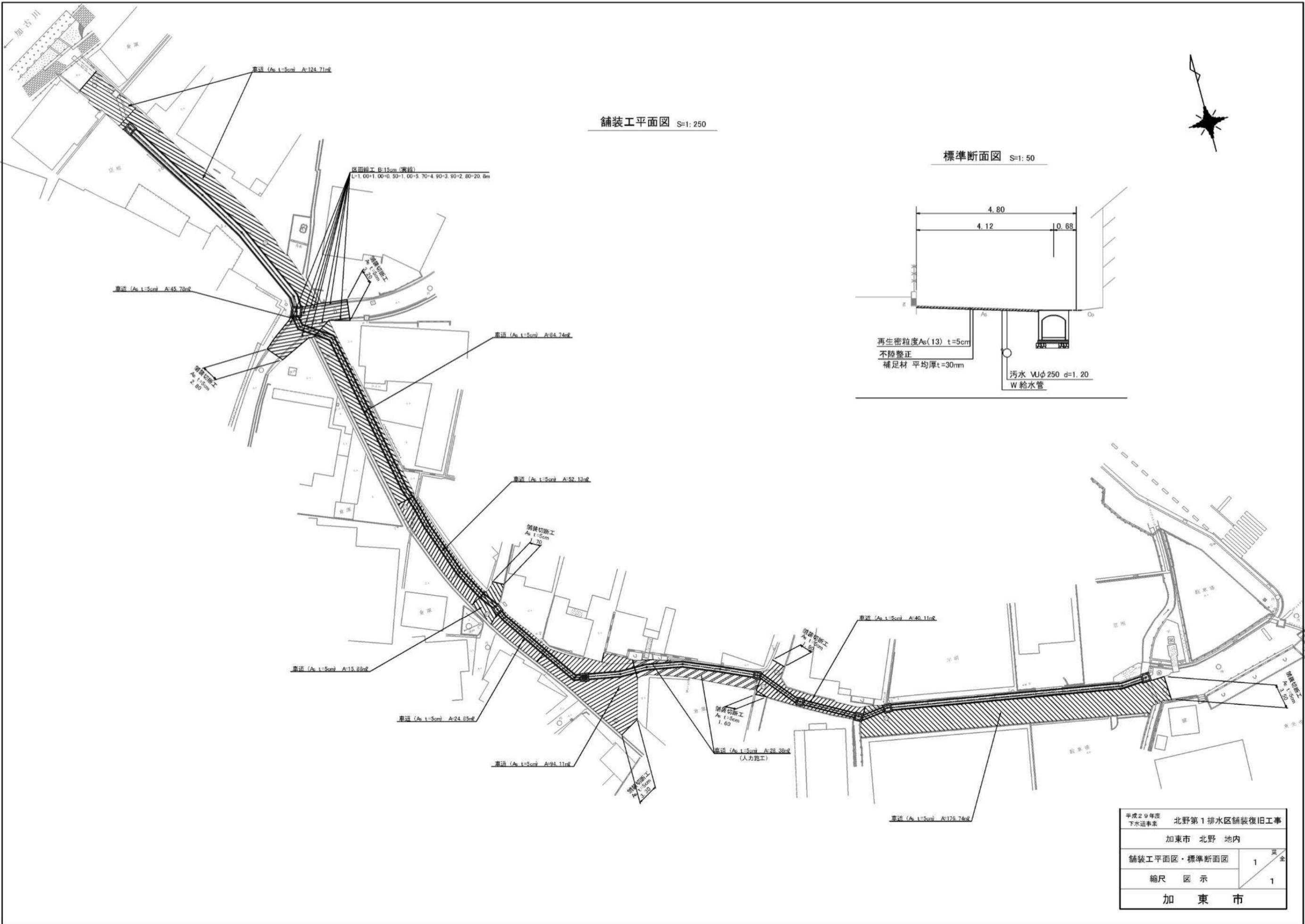
標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20)			②密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	カソリン レキユラー Stanton			レキユラーカソリン			
Z4	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均厚さ	=3	45mm以上55mm未満				
B	平均幅員	=1	1.4m未満				
C	材料	=15	②密粒度アスコン[再](13)				

数量総括表

工事名		北野第1排水区舗装本復旧工事					【当初設計】		事業区分(レベル0)																			
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	名称	規格(レベル5)	計 算 式			数量	単位	摘要																		
舗装工事																												
舗装工																												
構造物撤去工																												
舗装版撤去																												
			舗装版切断	As舗装版 t=15cm以下	2.8	+	3.2	+	1.7	+	3.3	+	1.9	+	1.6		3.5	=	18.0	18	m							
			舗装版破碎積込	As舗装版	124.7	+	45.7	+	84.7	+	52.1	+	15.8	+	24.8	+	94.1	+	28.3	+	40.1	+	176.7	=	687.0	687	m ²	
殻運搬処理																												
			殻運搬	As殻(掘削)	687.0	*	0.05											=	34.4	34	m ³							
			処分費	As殻(掘削)																					1	式		
アスファルト舗装工																												
表層																												
			不陸整正	補足材(M-30) 平均30mm	124.7	+	45.7	+	84.7	+	52.1	+	15.8	+	24.8	+	94.1	+	28.3	+	40.1	+	176.7	=	687.0	687	m ²	
			表層	幅1.4m以上 再生密粒度As t=5cm	124.7	+	45.7	+	84.7	+	52.1	+	15.8	+	24.8	+	94.1	+	40.1	+	176.7			=	658.7	658	m ²	
			表層	幅1.4m未満 再生密粒度As t=5cm	28.3																		=	28.3	28	m ²		
区画線工																												
区画線工																												
			溶融式区画線	実線・ゼブラ W=15cm																						20.8	20	m

平成 29 年度 下水道事業 北野第 1 排水区舗装本復旧工事 位置図





舗装工平面図 S=1:250

標準断面図 S=1:50

平成29年度 下水道事業		北野第1排水区舗装復旧工事	
加東市 北野 地内			
舗装工平面図・標準断面図	1	頁全	
縮尺 図示	1		
加 東 市			

特記仕様書

工事名 平成29年度 下水道事業 北野第1排水区舗装本復旧工事
工事場所 加東市 北野 地内
工期 平成29年12月22日限り

第1条 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）、「土木請負工事必携」、「土木工事施工管理基準」、「小型構造物標準図集」（兵庫県県土整備部）によるものとする。

第2条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1 工事用地区域外への立ち入り

請負者は、工事用地以外の区域へ立ち入りする場合は、必ず所有者の承諾を得ること。

2 関係機関との調整

地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明をし、施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。特に田植え、稲刈り等の耕作上重要な時期の作業については、作業工程に配慮すること。また、施工に先立ち、地下埋設物（上下水道、ガス、NTT、農水管、電気等）も十分調査し、必要に応じて関係機関と立会・調整を行うこと。

3 道路付属物並びに占有物件の処置

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と協議するものとする。

4 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地	摘要
As 殻	日本機動建設(株)	加西市国正町字塩谷山 1940-4	

※上記4については、積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 解体工事に係る建設資材廃棄物引渡完了報告について

請負者は、建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の

不適正な処理の防止に関する条例」(平成15年3月17日兵庫県条例第23号)第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。

6 交通誘導員の配置

交通誘導員については、交通誘導員 A 一名 交通誘導員 B 18名 計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A、B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

7 共通的工種

工期設定

工期は土・日曜日、祝日を含んでいる。

8 その他

施工箇所については現地調査後、展開図を作成し別途協議結果により設計変更の対象とする。また、不陸整正に伴う補充材（粒調碎石）、クラック対策等も同様とする。

特記仕様書及び共通仕様書・土木請負工事必携・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

工事看板は下図を標準とする。

